

## 第2回江南市都市再生整備計画事業評価委員会

日時：令和元年11月7日（木）午後1時30分～午後2時40分まで

場所：江南市役所3階 第3委員会室

出席者

【評価委員】A委員長：学識経験のある有識者

B委員：地区区長の経験者（布袋地区）

C委員：地区内在住・在勤・在学者（布袋地区）

D委員（D副委員長）：地区各種団体の代表者（布袋地区）

E委員：地区各種団体の代表者（布袋地区）

【江南市】 都市整備部長（野田）

事務局：都市計画課【課長（石坂）、統括幹（堀尾）、

主幹（小林）、副主幹（今枝）、主任（山田）、書記（森）】

### 1、評価委員会

#### 1) あいさつ等

発言者	発言内容
事務局（司会）	時間前ではございますが、皆様揃われましたので第2回の評価委員会を進めさせていただきたいと思っております。皆様方におかれましては、大変ご多用のなかご参集いただきまして、誠にありがとうございます。ただ今より第2回江南市都市再生整備計画事業評価委員会を開催いたします。始めに、委員長よりごあいさつ申し上げます。よろしくお願い致します。
A委員長	皆様こんにちは、座ったままで失礼します。1回目の評価委員会は8月6日に開催して、本日は2回目ということになります。前回はどのような事業を行ったかということ事務局より説明していただき、今日が本番になります。事業を行った結果、どうだったかという報告を事務局からしていただくと共に、来年度から引き続き事業を行っていくにあたって、その事業内容についても説明をしていただくこととなります。説明の中にあるかも知れませんが、国で様式が決まっています、日本全国同じ基準に基づいて評価を行います。そうすれば、会計検査上全国同じ基準で検査できますので、ちょっと面倒くさいかなと思われるかもしれませんが、その辺はご承知ください。ボリュームが少しある中で、時間も限られていますので、出来るだけ効率的に審議をしてみたいと思います。ご協力をよろしくお願い致します。
事務局（司会）	どうもありがとうございました。それでは、会議を始めるにあたりまして、お願いごとが1つございます。会議の内容の公開につきまして、委員会におけるご発言は、国の定める都市再生整備計画事業評価の手引きに基づき、後日、市のホームページに公開をさせていただきますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。 本日は、5名の委員の皆様全員の出席をいただいております。江南市都市

事務局（司会）	<p>再生整備計画事業評価委員会設置要綱第7条第3項により、半数以上のご出席をいただいておりますので、この委員会は成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>それではこれより議事に入りますので委員長よろしくお願いたします。</p>
---------	---

## 2) 協議事項

発言者	発言内容
A委員長	<p>それでは議事に従いまして進めたいと思います。議事の1でございますが、布袋地区都市再生整備計画の事業内容と事業進捗についてです。これは前回ご報告いただいたので簡単におさらいということになります。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（説明）	<p>都市計画課の山田です、よろしくお願い致します。</p> <p>最初に資料の確認ですが、本日机の上に次第と席次表を置かせてもらいました。事前にお配りした資料をお持ちいただいておりますか。無いものがありましたら用意していますので、お声掛けください。資料1の黄色のものですが、今日説明に使う資料です。パワーポイントが見にくい時とかに見てもらえればと思います。資料2の都市再生整備計画事後評価シートの原案でA3のものであります。資料3の事後評価シート、資料4はグラフのもの、資料5は都市再生整備計画の事後評価をやるにあたっての計画、資料6は事後評価の方法書、資料7は次期計画の原案です。資料1～7まであります。足りない資料がありましたら教えてください。本日はこちらのパワーポイントで説明させていただきますのでよろしくお願いします。</p> <p>では、説明させていただきます、座って失礼します。本委員会の内容について、A委員長の挨拶にもありましたが改めてお話をさせていただきます。令和元年8月6日に皆様にお集まりいただいた第1回委員会では、都市再生整備計画事業の事後評価の実施方法と都市再生整備計画事業の内容について、概要を説明させていただきました。その後、9月に市議会の建設産業委員協議会にて事後評価と次期計画の原案を説明しました。（一部訂正があります。建設産業委員協議会のところですが皆さまに配布させていただいた資料には建設産業委員会になっています。訂正をお願いいたします。）10月7日（月）から10月21日（月）までの2週間の期間で事後評価原案と次期計画原案を市民の皆様公表と意見募集を行いました。本日の第2回目の評価委員会は、事後評価案の最終審議の場となります。審議していただく内容は1の事後評価の審議と2の今後のまちづくり方策の確認および審議を皆様お願いしていきます。また、来年度から実施を予定している次期都市再生整備計画案の説明もさせていただきます。</p> <p>本日の事後評価に関する議題の内容は、「1. 布袋地区の事業内容と事業進捗について」「2. 事後評価手続きに係わる審議」「3. 今後のまちづくり</p>

事務局（説明）	<p>に係わる審議」の3つでございます。</p> <p>まず、「1. 布袋地区都市再生整備計画の事業内容と事業進捗について」は、前回委員会でも説明させていただきましたので、簡単に補足程度に説明させていただきます。</p> <p>次に、「2. 事後評価手続きに係る審議」は、記載があります指標1のまちの賑わい満足度、指標2の防災エリア率、指標3の建築促進数、指標4の道路整備の満足度で計画の目標達成具合を数値化し、事後評価の評価結果を説明していきます。そして皆様からご意見などをいただきたいと考えております。</p> <p>最後に、「今後のまちづくりに係る審議について」は、事後評価の評価結果に基づいて検討した布袋地区の今後のまちづくりについて説明させていただきます、再び皆様からご意見などをいただきたいと考えております。今後のまちづくり方策は令和2年度からの次期都市再生整備計画の策定へとつながっています。</p> <p>「1. 布袋地区都市再生整備計画の事業内容と事業進捗について」を説明させていただきます。布袋地区はこの図で赤にかこまれた150haの範囲で、黄色や水色の四角に書かれた事業を実施しました。まちなみ整備の一環として布袋町の街中でカラー舗装を計画していた道路がありましたが、来訪者の数があまり無く整備効果が薄かったため事業を削除し、整備を行いませんでした。第1回委員会に用いた資料を抜粋して簡単に事業を再確認していきます。まず、布袋本町通線の整備を行いました。布袋駅東駅前広場は鉄道高架化事業や関連する基盤整備のスケジュールにより整備工事が困難となったことから用地の確保のみ行いました。市道南部第229号線は限度額立体交差事業という事業の鉄道高架にあてる負担金の対象路線でした。市道東部第280号線と市道東部第425号線は駅東地区の狭隘道路を解消することで地区の防災性を目指し、9月末まで整備工事を行っていました。（訂正があります。「令和元年10月」と記載があるところですが皆様のお手持ちの資料は「現在整備中」と間違っていますので、修正をお願いします。）次に、地元からの要望も強かったエスカレーターを布袋駅に整備することで、安全で利便性が高くかつ移動の円滑化に大きく影響を与えました。当初の計画から追加した事業で中央改札と名古屋方面のエスカレーターを整備しました。犬山方面のエスカレーターについても鉄道高架工事の進捗にあわせて今後整備していきます。布袋駅西地区まちなみ整備ですが、これら写真の案内サインを設置しました。雨水排水対策施設整備は駅東地区の浸水被害軽減のため排水路の整備を行いました。今後貯留槽につきましても駅東駅前広場の地下に整備していく予定です。事業効果分析調査も交付金の対象で事業を行っています。以上で布袋地区都市再生整備計画の事業内容と事業進捗について説明を終わります。</p>
A委員長	ありがとうございました。事業進捗につきましては、予定通り進捗して

A委員長	いるということでもよかったですね。全体のご説明がありました。何かご質問がございましたらお願いします。
B委員	市道東部 425 号線は、10 月に完成とありますが、まだ運用されていませんが、一応工事として完成という意味合いでしょうか。
事務局	雨水貯留槽を布袋駅東駅前広場の地下に埋設する予定ですが、工事の影響で現道の南北の道路、××株式会社と駅の間を通り北側へ抜けていく道路があります。こちらは駅前広場用地になって道路がなくなることになりますが、そちらと市道東部第 425 号線との段差の関係などで問題があり、一部駅前広場を造る時でないと整備できない部分が残っています。その部分を整備しないと供用開始できないものですから、工事自体は一旦切りということで、工事が完了したという意味です。
B委員	運用はともかく、工事は一応完了という意味で、10 月ということですね。
A委員長	その他、ございませんか。
※意見なし	
A委員長	続きまして手持ちの資料の 11 ページの事後評価手続きに係る審議につきまして、ご説明をお願いいたします。
事務局（説明）	<p>次に、事後評価手続きに係る審議について説明させていただきます。事後評価にあたっては事前に方法書を作成し、事後評価を実施するにあたり都市再生整備計画に記載された指標を計測する方法や事業の実施状況等を確認する方法を設定しています。資料 6 が方法書になっていますが、方法書については時間の都合でふれません。本事後評価は、方法書に基づいた事後評価を実施しております。事後評価シートについてご説明いたします。事後評価シートは、一連の事後評価結果をまとめたもので、国からの参考様式であります。事後評価シートは皆様にお渡しした資料の 資料 2 の都市再生整備計画事後評価シート（原案）（令和元年 10 月）布袋地区と資料 3 の都市再生整備計画事業事後評価シート（添付書類）のことですが、資料 2 は市民の皆様には事後評価の原案として 10 月に公表した資料となります。資料 3 の添付書類は事後評価の内容が詳細に記載されており、この内容を反映させ「資料 2 の原案」が作成されております。ただこの会議ではパワーポイントで説明していきます。</p> <p>これから指標 1 から指標 4 を用いて都市再生整備計画の成果の評価と効果発現要因の整理をまとめて説明させていただきます。都市再生整備計画に記載した目標を定量化した指標の達成状況を説明いたします。指標は 4 つあります。それぞれのくわしい内容はあとで説明させていただきます。指標の達成状況は、指標 2 の防災エリア率と指標 3 の建築促進数は目標を達成しています。指標 1 のまちの賑わい満足度と指標 4 の道路整備の満足度は目標値にはいたっていない結果となりました。そこで、この指標 1 と指標 4 の満足度、市民アンケートの結果であり大変重要なデータなのですが、この 2 つの指標を補完するためにその他の数値指標をこの事後評価用</p>

事務局（説明）	<p>に設定し、布袋駅の乗降客数によって別角度から事業実施による効果を評価しています。内容についてはこれから詳しく説明させていただきます。</p> <p>指標 1 まちの賑わい満足度は、アンケート調査における駅前や市街地が整備され、人々が集い賑わっていると感じている市民の割合を評価しています。数値は、緑色の囲いになりますが、整備前の平成 25 年は 15%であり、その向上を目指し計画終了時の目標値を 21%と設定しています。平成 28 年度の計画の中間年に行ったモニタリング時は 14%と当初の 15%を下回ってしまいました。ピンクの囲いになりますが、事後評価の評価値を求めるため今年度の 4 月に実施したアンケートであり、結果は 18%で目標値に達してはいません。しかし、モニタリング時よりは数値が向上し一定の効果はあったと考えております。その下の黄色の囲いに所見等をまとめています。都市基盤整備を着実に進めているものの、鉄道高架化事業の本体工事や駅周辺の基盤整備が途中段階であることから、人々が賑わいを実感できずに満足度は目標値を達成することが出来なかったと考えられます。今後、鉄道高架化事業の進捗にあわせた基盤整備を推進していくことによって、目標値は達成される見込みであると考えております。黄色の囲いに改善の方針としては、交通結節機能を高めるための駅や道路等の整備とあわせ、人々が集い、賑わいが創出できる空間の整備を図っていくことを考えております。</p> <p>指標 2 防災エリア率は、計画区域内の対象地域における全体面積に対する防災性が良好な公共用地と周辺地域の面積の割合を「防災エリア率」として評価しています。国道 155 号から北の計画区域で公共用地と 4 メートル以上の道路と道路から奥行き 30 メートル以内の範囲を防災エリアとしています。防災上問題のない基盤整備が実施されている区域が地区全体に占める割合を示しています。緑色の囲いですが、整備前の平成 25 年は 78%であり、計画的な道路整備などにより目標値を 82%と設定しています。ピンク色の囲いですが、平成 31 年 3 月 31 日時点で計測した評価値は 82%であり、目標値を達成しています。黄色の囲いの所見等は布袋本町通線や市道東部第 280 号線・市道東部第 425 号線等の整備が順調に進捗し、道路を整備することで防災スペースを確保したことで防災エリア率が増加し目標値は達成しました。今後の活用としては、狭隘道路の解消などの整備を推進することにより防災エリアを拡大させ、地区内の安全性を向上させていきます。</p> <p>指標 3 建築促進数は、計画区域内の対象地域における建築確認申請件数の累計を「建築促進数」として評価しています。緑色の囲いは平成 19 年度から平成 24 年度の申請件数で累計値 261 件です。計画的な宅地供給と建築促進により目標値を平成 30 年度の末までの累計値 423 件と設定しています。ピンク色の囲いの平成 30 年度末、平成 31 年 3 月の評価値の累計は 510 件であり、目標値を達成しています。黄色の囲いの所見は鉄道高架化事業</p>
---------	--

事務局（説明）	<p>や駅周辺の都市基盤整備により地区の利便性が期待されていることから、建築促進数は目標値を大きく上回り達成したと考えられます。今後の活用としては、今後も安心・安全な生活環境を確保していくことで街中居住の推進や低未利用地の活用を図っていく考えです。</p> <p>指標4は、アンケート調査における「道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合」を「道路整備の満足度」として評価しています。緑色の囲いの整備前の平成25年は44%であり、目標値を51%と設定しています。ピンク色の囲いですが平成31年4月のアンケートより評価値は39%であり、目標値に達していません。事業開始前の平成25年より数値が下回っています。モニタリング時の27%よりも10%以上改善しており、整備の効果はあったと考えられます。黄色の囲いの所見としまして、地区内の道路環境の改善を図っていますが、整備途中の段階の道路が地区内に存在すること、また、整備した道路の連続性が不十分であることから人々に未整備イメージを与え、満足度が得られていないと考えています。鉄道高架化事業の進捗とアンケート実施時、整備途中であった市道東部第280号線・425号線の完成等により着実に安全性や利便性を確保していくことで満足度は上昇し、目標値に近づいていくと考えられます。改善の方針としては、鉄道高架化事業の完成を見据え、予定している道路事業を計画的に実施することで道路の連続性を確保し、人や車が安心・安全に通行できるよう道路整備の効果を発現させていきます。</p> <p>その他指標として、布袋駅の乗降客数を設定しました。鉄道高架化事業の進捗や駅のエスカレーター設置及び駅周辺の市街地環境改善に向けた基盤整備の進捗による効果発現を駅の乗降客数で評価します。鉄道高架化事業の進捗や駅へのエスカレーター設置及び駅周辺の市街地環境改善に向けた基盤整備の進捗により駅の乗降客数は平成27年度より増加傾向であり、本事業実施による効果が表れていると評価できます。平成25年度数値より平成29年度はおおよそ年間23万人以上増加しています。今後の活用としては、鉄道高架化事業の推進とその進捗にあわせた基盤整備の実施により魅力的な駅や駅前を整備していきます。次に、実施過程の評価について説明させていただきます。モニタリングは予定どおり実施しました。数値指標の中でも平成28年の数値を記載していましたが計画の中間評価のことで、これについては「布袋地区鉄道高架・街づくり協議会」の会合において、指標の達成状況および進捗状況等について説明・確認を実施しました。今回のこの事後評価結果につきましても今年度中に「布袋地区鉄道高架・街づくり協議会」の会合で少し時間をいただいて説明させていただければと考えております。住民参加プロセスの実施状況においても、「布袋地区鉄道高架・街づくり協議会」等の会合において、各種基盤整備事業などに関する説明および意見聴取を実施し、適宜、事業執行への参考としました。エスカレーター整備や案内サイン設置など、事業実施の参考となっております。</p>
---------	---

事務局（説明）	<p>ます。これらの取り組みは、今後も継続して実施すべきと考えております。持続的なまちづくり体制の構築状況については、布袋地区においてはさまざまなまちづくり活動が行なわれており活性化しています。記載してあるのは、都市再生整備計画に記載した公共施設の維持管理やアダプト制度によるまちづくりの方面からまとめています。春と秋の花いっぱい運動と2号緑地の維持管理について触れています。今後もそれらの活動を継続していく方針としています。</p> <p>次に、事後評価原案の公表および意見について説明いたします。10月7日（月）から10月21日（月）の2週間の期間で事後評価原案の公表及び意見募集を行いました。公表方法は2パターンあり、江南市役所3階都市計画課・江南市役所1階総合案内前・布袋ふれあい会館（布袋支所）・宮田支所・草井支所における閲覧と意見募集、市のホームページに掲載しての意見募集を行いました。事後評価原案だけでなく来年度から実施する次期都市再生整備計画の原案も同時に公表し意見募集を行いました。公表した資料は、本日の資料2の都市再生整備計画 事後評価シート（原案）（令和元年10月）布袋地区と資料7の次期都市再生整備計画原案などを添付しました。意見募集の結果ですが、住民のみなさまからの意見はありませんでした。以上で事後評価手続きに係わる審議について説明を終わります。</p>
A委員長	<p>ありがとうございました。手持ちの資料でいきますと11ページから25ページまでご説明をいただきました。ご説明をいただきました事後評価手続きに係る審議の部分は、我々事後評価委員としては意見をいうというよりは確認をしていきます。国に従った様式に基づいてやっているものですから、事業主体である市が自分で評価しているものです。そのため、第三者的に我々が適切に評価されているかの確認作業をすることがこの委員会の主旨であります。この後3は今後のまちづくりの話であるため、確認だけではなくて、地元の事をよくご存じの皆さんのご意見を頂戴するものでございます。全体を通して何かご質問が有りましたら、お受けしたいと思います。特に指標の部分というのは、今回行われた結構なお金と時間を使って事業をやっているの、その効果が上がっているのかを確認するために、4つプラス1つの全部で5つの指標で確認をしています。出来れば皆さんと一緒に確認をしていきたいと思っております。まず、15ページの指標1のまちの賑わい満足度でございます。先ほどの説明でいくと目標値には達成していませんが中間評価のモニタリング時に事業途中でドーンと落ちてしまっただけでどうなる事かと思っただけで復活しました。目標には達成していませんが、満足度としてはある程度上昇しています。事業途中ですが、先ほどのご質問にもありましたように道路ができたけれども、まだ共用していないという部分もあります。そういうことも含めてきちんとできれば21%は難しいことではないだろうという感じですが、事業をやる5年前の平成26年位に比</p>

A委員長	べて何となくまちが賑わってきているなあという感覚はございませんか。
C委員	朝・夕の通勤時に駅周辺の行き帰りの人の数が増えていると感じることがあります。ロータリーに並ぶ車の数も増えていると感じます。
A委員長	<p>この後にもありますが、乗降客が結構増えてきています。指標 1 に関しては市の方でまとめていただいた通り目標には達していないが、効果はきちんと上がっていると思われれます。今後の対応方策が今後の課題につながっていくのですが、事業をきちんと仕上げていただくことと賑わい創出のための取り組みを今後も進めていただくということでもよろしいでしょうか。</p> <p>指標 2 ですが、「道路が狭くて消火活動ができない」とか、「緊急自動車が入れない」というような問題を抱えている可能性がある場所が元々22%位あり、ちょっと問題だぞという箇所がありました。理想でいけばゼロにしたかったのですが、いきなりゼロにできないので、この 5 年間でなんとか22%の問題がある場所を 18%位にしたい。これは道路を整備すれば確実に減っていくもので、簡単に言うと計画通りに道路の整備が出来た段階で、計画通りになって目標が達成できますというものですので、計画通りに進捗したため目標が達成できたということです。これも問題がないということでもよろしいですか。</p> <p>指標の 3 ですが、建築促進数の累計で平成 19 年から平成 31 年までに国道から北の結構狭い範囲で、この 20 年ちょっとの間に 500 軒建築されている。以前私もぶらりん日和でよく布袋に来させていただきましたが、病院が移転した後どうなるかと思っていました。更地になった時、これは寂しいまちになってしまうなあと思いましたが、見事にモデルハウスのようになり、イメージが相当良くなりましたよね。あのような住宅が出来て布袋の住宅地としての魅力というか、それを含めて目標を大きく上回るくらい確実に、これもデータのすごく良かったですということでしたので、問題無しということでもよろしいですね。平成 25 年から日本全国で人口が減少傾向にある中で、これだけ人口が増え続けたということは地域のポテンシャルがしっかりしていたということですね。こういう所できちんと事業をすることによって、需要を掘り起こしたということは事業として大事なことだと思います。</p>
B委員	これはちなみに病院の跡地の影響が大きいですか。
都市整備部長	駅の東側において建築の規制を少し緩和した地区の影響があります。今の鉄道高架の状況を見て便利になってから建てる高い値段かと思いますが、前もって建てる安く建てられます。今はもうだいぶ上がっていますが。
A委員長	このご時世に地価が上がっているという、すごいですね。次の計画では駅の東側をきちんとしようとする話があり、それを含めてこれだけ建物が建ち、なおかつ地価も上がり、人口も増えて、乗降客も増えているという



A委員長	<p>ことは大事なことですし、周辺の市町からすれば羨ましい状況だと思います。続きまして18ページの指標4ですが、道路整備の満足度です。これも賑わいと同じように、完璧に中間評価が正確だと思ったのは、中間評価の段階で地区内全部が工事の規制だらけだったと思います。思い出していただくと今から5年位前は無茶苦茶通りにくかったと思いますが、満足度は44%から27%につるべ落としのようにドーンと落ちたので、どうなる事かと思いました。道路の工事中はどうしても低くなるが、きちんと整備できれば確実に満足度は戻ってくるということです。目標としては50%を越えるところですが、事務局のコメントではやはり鉄道高架を含めてきちんとできれば間違いなく満足度は上がってくるという見解ということによろしいでしょうか。</p> <p>最後に、ご説明にもありました指標の4と指標の1は未達成だった所で、C委員からも話がありましたが、まちが賑わっているとか道路整備がきちんとできて過ごしやすいということは、結果的に布袋駅がどれだけ利用されるようになってきたかに直接的につながっています。未達成の所を補完する意味で19ページの布袋駅の乗降客数を表したグラフを見ていただくと明らかに事業が始まってから着実に乗降客は増えています。恐らく鉄道高架事業が終わったらもっと増えることになると思います。では、ご提示いただいた指標1から指標4及びその他の指標に関しては、今回内容を確認させていただいて適当であるということによろしいでしょうか。</p>
※意見なし	
A委員長	<p>引き続きまして、21、22ページの所では実施過程の評価ということで、本日ここに評価書がのってくるまでにどういうプロセスを踏んでいるかというところでは、まず、中間モニタリングについてはきちんと実施しましたということです。中間モニタリングの時に賑わい満足度や道路整備の満足度が下がって、事務局の皆さんはヒヤヒヤされていたと思います。その時の解釈としては事業中だから下がるのは仕方がないということ、恐らく先ほどのその他指標で乗降客数をみると確実に上がってきているので、これは一時的に下がっているだけであって最終的には上がるだろうという判断をモニタリングの段階でされたのだろう、それは今回の評価結果につながっていると思われます。住民参加プロセスの実施状況及び22ページの持続的なまちづくり体制の構築状況については、ご説明いただいた通りです。もともと布袋地区は比較的充実した活動をいっぱいされていますので、そういったものと事業とが上手くつながった形で進められていますというご報告でした。21、22ページにつきまして何かご質問なりご意見がございましたらよろしくお願い致します。</p>
※意見なし	
A委員長	<p>では、この提示結果で適当であると判断させていただいてよろしいですね。</p>

A委員長	最後、23、24、25 ページですが、案の段階で公表した結果、ご意見はありませんでしたという報告です。11 ページから 25 ページまでの議題である事後評価手続きに係る審議の内容につきましては、適当であるという判断でよろしいですか。
※意見なし	
A委員長	ありがとうございました。議事 2 までは終了させていただきます。では、事務局の方をお願いいたします。
事務局（司会）	この後も同じくらいの時間を予定していますので、ここで 10 分程休憩をとらせていただきたいと思います。
10 分間休憩	
A委員長	議題 3 の今後のまちづくりに係る審議について、説明をお願いします。
事務局（説明）	今後のまちづくりに係る審議について説明させていただきます。まちの課題の変化は次の通りです。本地区内における交通結節機能を向上させる整備は依然不十分であるため、さらに都市計画道路等の整備を進めていく必要があるという課題については、駅西地区の都市計画道路布袋本町通線、駅東地区の市道東部第 280 号線、市道東部第 425 号線の整備を行い、交通結節機能は向上しましたが、鉄道による駅東西の分断により駅前の賑わいは十分でないため、鉄道高架の完成を見据えた基盤整備により新しい駅の駅前にふさわしい賑わいを創出する必要があるという課題が残りました。駅東地区においては、鉄道高架に伴い利便性が求められるなかで、以前からの課題である狭隘道路や浸水被害の解消及び地区の防災性を高めるため新たな道路の整備が必要であるという課題については、市道東部第 280 号線、市道東部第 425 号線の道路整備、排水路の整備など雨水排水対策施設整備を行い地区の防災性は向上しましたが、今後、地区外からの来訪者が増加すると見込まれる布袋駅東複合公共施設を整備していくことから地元の住民だけでなく誰もが安全で便利に活動できるまちづくりを進めていく必要があるという課題が残りました。「魅力と活力あるまちづくり」に繋げていくためには、地域のまちづくり活動と一体的にまちなみの活用やまちあるきの展開を図ることが有効であり、地区の歴史的な地域資源などと調和したまちなみ景観整備が必要であるという課題については、地元住民によるまちづくりイベントなどにより地区内の来訪者が増えたことから、案内サインの設置などを行い今後のまちづくり活動を展開していく基盤を整えました。布袋駅または駅周辺地域の平面的移動に対する整備が進む中、立体的移動を中心とした安全性や利便性の高い整備を進める必要があるという課題については、以前より地元から要望の高かった布袋駅のエスカレーター設置について検討し、事業に着手しました。事業により発生した新たな課題としては、鉄道高架化事業や関連する基盤整備が進み、今後さらに都市機能が集約されていく布袋駅周辺は、魅力的な市民の交流空間の創出を図る拠点づくりが求められていることがあげられます。

事務局（説明）	<p>今後のまちづくり方策のうち、効果を継続させるために行う方策を説明します。先ほどの「まちの課題」について「達成された」ことについて、その効果を継続するためのまちづくり方策です。安心・安全な交通結節機能を確保していくためには、整備済み道路とのネットワーク化を図り、安心・安全な生活環境の向上を目指す道路整備を行いながら交通結節機能を確保していくことが必要であり、想定される事業としましては、都市計画道路布袋駅西通線、都市計画道路布袋駅線、布袋駅西駅前広場、布袋駅東駅前広場、市道南部第 374 号線、市道南部第 229 号線、国道 155 号、市道東部第 280 号線、市道東部第 439 号線、市道中部第 359 号線です。駅東地区の防災性のさらなる向上を図るためには、布袋駅東駅前広場とその地下に埋設する雨水貯留槽、また駅東地区における道路整備を行い、防災性をさらに向上させる必要があります。想定される事業としましては、布袋駅東駅前広場、雨水貯留槽、都市計画道路布袋駅線、市道東部第 280 号線、市道東部第 439 号線です。住民主体のまちづくり活動の継続のためには、まちづくりイベント等の継続や地域の自主性を尊重した支援を行う必要があります、想定される事業としましては、布袋ぶらりん日和です。布袋駅のエスカレーター設置については、鉄道高架工事の進捗にあわせ、未着手のエスカレーターの整備を行い、移動の円滑化を図る必要があります、想定される事業としましては、エスカレーター（布袋駅）です。</p> <p>今後のまちづくり方策のうち、改善策を説明します。これは、先ほどの「残された未解決の課題」および「事業によって発生した新たな課題」について、その解決のためのまちづくり方策です。</p> <p>「賑わいのある駅周辺のまちづくり」には、駅前広場や布袋駅東西をつなぐ都市計画道路、自転車・歩行者専用道路や布袋駅のエスカレーターの整備などによって交通結節機能の向上を図るとともに、図書機能、子育て支援機能、交流機能を民間施設と一体となった布袋駅東複合公共施設に集約・再配置することで駅周辺の賑わいを創出することが必要であり、想定される事業としましては、都市計画道路布袋駅西通線、都市計画道路布袋駅線、布袋駅西駅前広場、布袋駅東駅前広場、市道南部第 374 号線、市道南部第 229 号線、1 号公園、エスカレーター（布袋駅）、布袋駅東複合公共施設、鉄道高架事業、土地区画整理事業、国道 155 号、市道東部第 280 号線、市道東部第 439 号線、市道中部第 359 号線、布袋ぶらりん日和です。</p> <p>「安全で便利に活動できるまちづくり」には、ゲリラ豪雨などに対応する雨水貯留槽や布袋駅のエスカレーターを整備するだけでなく、歩車分離を図る道路や自転車・歩行者専用道路、都市機能を集約した布袋駅東複合公共施設を整備することで、住民だけでなく、布袋駅周辺を訪れる人など誰もが安全で便利に活動できるまちづくりを行うことが必要であり、想定される事業としましては、都市計画道路布袋駅西通線、都市計画道路布袋駅線、布袋駅西駅前広場、布袋駅東駅前広場、市道南部第 374 号線、市道</p>
---------	---

事務局（説明）	<p>南部第 229 号線、1 号公園、エスカレーター（布袋駅）、布袋駅東複合公共施設、鉄道高架事業、土地区画整理事業、国道 155 号、市道東部第 280 号線、市道東部第 439 号線、市道中部第 359 号線です。</p> <p>「鉄道高架の推進と市民の交流・活動の拠点づくり」には、鉄道高架化事業を推進し、その進捗に併せて駅前広場や公園、図書館や交流スペースを併設する布袋駅東複合公共施設などの整備により布袋駅を中心とした交流・活動の拠点を形成することが必要であり、想定される事業としましては、布袋駅西駅前広場、布袋駅東駅前広場、1 号公園、エスカレーター（布袋駅）、布袋駅東複合公共施設、鉄道高架事業、布袋ぶらりん日和です。次にフォローアップ計画を説明致します。</p> <p>指標 1「まちの賑わい満足度」指標 4「道路整備の満足度」については、一部繰越となった事業があるため、整備完了後の値として令和 2 年 7 月に住民意識調査を実施し、確定値を計測します。指標 2「防災エリア率」指標 3「建築促進数」は今回の評価値を確定値とします。その他の数値指標 1「布袋駅の乗降客数」は、平成 30 年度の値を確定値とし令和 2 年 7 月に計測します。フォローアップの結果は定められた様式であるフォローアップシートに取りまとめ、評価結果の事業等への反映を適宜実施するほか、国へ提出します。</p> <p>続いて、今後の予定です。本委員会の結果を受けて、令和 2 年 3 月に本評価結果を国に提出します。また、令和 2 年 4 月以降に評価結果を市民の皆様にご公表致します。以上で説明を終わります。</p>
A 委員長	<p>ありがとうございました。27 ページにまちの課題の変化、そしてどんな課題が残っていて今後どんなまちづくりをしていくべきかということが 29 ページから 30 ページに整理されています。事業がたくさんあって分かりにくいのですが、基本はこの後説明がある来年度からの次期都市再生整備計画事業の実施にあたり、これからの事業の説明がつくようにつながっているのです。基本的には次期計画でやろうとしている事業が今後やっていかなければならない事業と対応しているということですのでよろしいですね。事業のイメージは、後ほど説明がありますけれど、資料 7 の一番最後にある図面を横にして見ていただくと書いてある事業が一覧として分かると思います。何かご質問なりご意見がありましたら、よろしくお願いします。</p>
B 委員	<p>道路幅の決定方法とか決定根拠、これはどの様にして決められているのか、お伺いしたいです。現在市道東部第 280 号線と市道東部第 425 号線が交わりますね。市道東部第 425 号線については道幅が狭いと思います。理由はこの辺りは、トラックの通行量が多く 1 日何台通るか分かりません。今後整備されていくとトラックと駅への送迎の乗用車がすれ違いますが、ちょっとすれ違いにはきついように見えます。今後造る道路に関して道幅の決定方法、決定根拠がどんなものか聞きたいと思います。</p>
都市整備部長	<p>市道東部第 280 号線と市道東部第 439 号線は 2 車線の道路として整備し</p>

都市整備部長	ています。市道東部第 425 号線は 2 車線までは造らないが、車がすれ違える幅、後は歩道を少し広めに設定してあり、大型自動車と乗用車がすれ違える幅に設定してあります。
B 委員	私が思ったのは、駅東のロータリーができて送り迎えができるのならばあれで良いと思います。しかし、ロータリーは作らないよという計画である道幅で良いのかということです。
都市整備部長	車の利用に関しては、踏切がなくなることから西側ロータリーに集約していくのが現状の計画です。東側でも乗り降りがされると思いますが、乗り降りするということはおおむね 20 秒もかからない秒数だと思います。市道東部第 425 号線は、2 車線ぐらいの大きな幅について考えたいと思いますが、2 車線の道路にすることはできません。申し訳ないですが、最低限といっちはいけません、南北の軸として市道東部第 280 号線、市道東部第 439 号線については区画整理の 10m 道路と接続する計画のためそれを考慮した道路幅員で計画しています。
B 委員	市としては、あの道幅で行けるだろうという考え方ですね。
都市整備部長	はい。そうです。
A 委員長	本来であれば車の利用者は駅西駅前広場がメインで、駅東駅前広場はフォローするものだと思います。駅西の広場ができると、ここは駐車禁止となるかも知れませんね。
都市整備部長	一時的な停車はいいが、あまりずっと待ってられることはまずいです。
B 委員	ちなみにトラックは、何台 1 日に来ていますか。
都市整備部長	朝からかなり多数のトラックが来ています。
A 委員長	わかりました。その他、よろしいですか。ご質問、ご意見がありましたら。
D 委員	布袋駅東複合公共施設がありますが、これはどんな建物が建ちますか。地上何階、地下何階とかは決まっていますか。
都市整備部長	今は複合公共施設で求めていく内容について募集要項を整理しております、それを令和 2 年 1 月から事業者を募集していきます。できるものについては、そのまま事業者が募集内容を見て計画をして、その後に建物の大きさとかは、事業者が提案する中で決まっていくということです。
D 委員	今、市として計画はありますか。何十階とか。
都市整備部長	基本的にはありません。部屋の大きさ、図書館ですと何㎡、保健センターが何㎡とか、そういった大きさだとかスペックだけは指定しておりますけれど、どういった建物にするかは決まっています。一つの建物にするか、分かれた建物にするか、それも決まっています。
D 委員	だんだん話が飛躍してきて、巷では五十階建てができるとかいろいろなうわさがあります。
都市整備部長	募集要項の中でも事業者が決まった場合、説明会を開くということにし

都市整備部長	てありますので、おって計画ができましたらお伝えします。
D委員	昨日の老人会の講習会で図書館の移転の話が出ました。移転するのは3年半先で古知野町にある図書館に冊数がどれだけあるかは知りませんが、今度出来る所は30万冊が完備され、かなり立派なものができるから、図書館の会員の方だけでなく皆さんも利用して下さいということが昨日の話題として出ていました。かなり期待しているみたいだよ。駅東の方に人の集まりが集中するのではないかなと思います。
事務局	今の3倍くらいの図書館が完成することを想定しています。
B委員	中には駐車場が足りないのではとの意見もありますが。
都市整備部長	立体駐車場も考えなければいけませんね。
D委員	駅東にはあまりないが、駅が完成すると今は西に駐車場がたくさんあるが、そのうちコンビニとかができるかもしれない。あと、これ以上遅れず、早く鉄道高架の方も進めてほしい。
A委員長	ありがとうございました。他にありませんか。
C委員	市道南部第374号線の線路に側道みたいになっている部分ですが、あそこはいつ頃完成予定で、更には鉄道高架をくぐるのかどうか。どこで東に渡れるのかとか、車がギリギリ通れるのか通れないのかとか歩道が付くのか付かないのかを教えてください。
事務局	布袋駅より北側の線路の西側、今の仮の線路ですが、犬山方面の切替えが令和2年度の上半期までで使われ、そのあと随時仮線をとるのですが、来年すぐに市道南部第374号線に着手できるわけではありません。工事は令和3年ぐらいになるかもしれません。市道東部第374号線は、現在尾北高校の所は高さ制限がありますけれど、車が東西に行き来できそこは完成しても同じように通れる予定です。
C委員	通れるのはそこだけですか。
事務局	増えることはありません。
C委員・E委員	聖寿院の前などは閉鎖したままで、通れないのですね。
事務局	閉じたままで通れません。木賀線への車の接続もできません。
都市整備部長	補足ですが、聖寿院の昔踏切があった所までは車が行けますが、その北側については行き止まりみたいになっております。警察から東に行く所に踏切がありますけれど、あそこまで道路をつけてしまうとすぐに踏切があり、交差上良くないということで、Uターンできる所はありますが、実際通り抜けはできません。
C委員・E委員	わかりました。
A委員長	他はよろしいでしょうか。
※意見なし	
A委員長	では、確認作業として27ページは元々事業が始まる前にこういう課題がありました。事業をやったことによって改善されたことと達成指標のどこ

A委員長	ろにもありましたが、なかなか達成しきれない部分もありました。それに基づいて 29、30 ページの方で今後はこういった事業をやっていかなければならないということがまとめられています。ここに書いてある事業に基づいて今後事業をやっていきますということとなります。これが次の計画につながっていきますが、これらの内容につきまして、ご意見が無いようでしたら妥当であると判断し、委員会としての審議結果とさせていただきたいと思えます。
B委員	ちょっとお聞きしたいのですが、布袋駅西通線、想定される事業となっていますけれども、これはちなみに何をされるのですか。それと市道南部第 229 号線、布袋小学校の北側の道路ですが、もうすでに完成されているように思うのですが。
事務局	まず市道南部第 229 号線は布袋小学校の北側の路線ですが、あれはこの計画の中で鉄道高架の負担金をいただくための対象路線でありますということで位置づけしています。
都市整備部長	難しい説明ですが元々は道路が線路の上をいく計画で設定してありました。鉄道高架の仕組みとして、国道 155 号も昔は跨線橋の計画で、ふれあい会館前の道も跨線橋の計画で行きました。跨線橋は金額が高く、平面でやれば金額は安くなります。その差額を鉄道高架に充てているという仮想的な事業の仕組みです。
事務局	布袋駅西通線は現在車止めがしてある所ですが、そこを歩行者、自転車専用道路として整備していきます。駅前広場ではなく歩行者、自転車専用道路という位置づけの道路です。道路といえども駅前広場と同じ様な黒舗装ではなく、駅前広場から動線が繋がっていく様な整備をしていきたいと考えております。
A委員長	では、改めまして 27 から 31 ページのこれらの内容につきましては、この内容でよろしいでしょうか。
C委員	ぶらりん日和って今後の 5 年間もやる設定なのですか。
都市整備部長	これは想定ですから、やっていった方がいいんじゃないかということで書いてあります。
C委員	わかりました。
A委員長	その他、ご質問はよろしいでしょうか。では、今後のまちづくり方策に関しましては、この内容でまとめさせていただくということでよろしいですか。31 ページのフォローアップ計画ですが、今回確定していない数字つまり事業が終わっていない段階で計測しています。指標 1 と指標 4 に関しては事業が完了した来年度にもう一回計測させていただきます。これに関しましてもよろしいでしょうか。
※意見なし	
A委員長	これで議事 3 の今後のまちづくりに係る審議は終了させていただきます。続きまして議事 4 の次期都市再生整備計画についてのご説明をお願いいた

A委員長	します。
事務局（説明）	<p>次期都市再生整備計画についてご説明いたします。まず1つ目ですが、次期計画は今までの都市再生整備計画の「布袋地区 150 ヘクタール」の計画区域から「布袋駅周辺の 35 ヘクタール」に縮小して区域設定をしています。よって今までの布袋地区都市再生整備計画から布袋駅周辺地区都市再生整備計画に計画名を変更しています。江南市の都市計画マスタープランで市の「南玄関」である布袋駅周辺は江南市の「中心拠点」と位置づけられています。</p> <p>2つ目として、布袋駅周辺地区都市再生整備計画の概要ですが、現在実施中の「鉄道高架化事業」や新たに建設を予定している「布袋駅東複合公共施設」を契機として活気と魅力を創出し、当地区の交通結節機能を活かして賑わいのある江南市の南の拠点づくりを目指しています。</p> <p>3つ目として、この布袋駅周辺地区都市再生整備計画の大きな特徴として、通常の都市再生整備計画ではなく都市の再構築をめざした「都市再構築戦略事業」で都市再生整備計画を策定しています。主な特徴として国からの交付金の交付率が通常の都市再生整備計画の40%から50%になります。江南市では現在「立地適正化計画」を作成していますが「立地適正化計画」に位置づけられた「都市機能誘導区域」の中に布袋駅周辺は位置していること、あと布袋駅東複合公共施設にはいろいろな施設を整備しますがその中の特に「図書館」を整備することなどから「都市再構築戦略事業」の要件をみたしている計画となっております。</p> <p>次に、布袋駅周辺地区都市再生整備計画の概要についてご説明いたします。令和2年度から令和6年度の5か年間に、赤枠で示した35ヘクタールの区域において、整備事業を引き続き実施する予定です。事業内容は、先に説明いたしました「今後のまちづくり方策」の「想定される事業」により構成されています。道路事業として、都市計画道路を中心とした道路整備4路線と布袋駅東西の駅前広場を整備します。公園事業としては、1号公園を整備します。雨水対策として、雨水貯留槽を整備します。布袋駅内のエスカレーターについて、未整備分を新たに1基整備します。また、布袋駅東複合公共施設として、交流スペースと図書館を整備します。このほか、関連事業として、道路整備や土地区画整理事業、布袋ぶらりん日和などを継続して実施するほか、布袋駅東複合公共施設の各種施設もあわせて整備していきます。本事業のまちづくりの目標は、「魅力的で賑わいある江南市の南の拠点づくり」とし、目標を達成するための代表的な指標として、事後評価で審議していただいた計画に引き続いて「まちの賑わい満足度」を設定するほか、「布袋駅周辺の交流施設等の利用者数」および「まちの安全性・利便性満足度」を設定しています。なお、本計画内容については、国との相談を行なって、次年度から事業を実施する予定で準備を進めています。以上で次期都市再生整備計画について説明を終わります。</p>



A委員長	<p>はい、ありがとうございました。ただ今のご説明につきまして何かご質問がございましたら、先にちょっとだけ補足します。都市再構築戦略事業は、簡単に言うと国が推奨していることとして、コンパクトシティがありますが、鉄道駅を中心として生活に必要なサービススペースなどをできるだけ集約して、歩いて生活したり公共交通機関を使って生活できる様なまちにしていくのが、特に20年後、30年後には大切になってきます。それを現時点からきちんとやる所は、国としては奨励するので補助金をお渡ししますという制度です。今回まさにご説明がありましたように駅の東側に造る複合公共施設や、それに伴ってコンパクトなエリアを絞ってまだ足りない道路や公園など施設を集中的に整備していく計画です。余談にはなりますが、一昔前にある一定のエリアで整備が終わるとその整備効果を出すために外にエリアを広げていくというやり方をよくやっていました。今回はその逆なのですね。150ヘクタールで事業効果が出たからもっと絞り込んで、駅の直近部をもっと充実させようと、そして全体に波及させようという。これはまさにこういう厳しくなった時代の中で求められている手法で、国が推奨している事を是非やろうとしている。その結果補助率を余分に貰うということです。ご質問等何かありましたら最後にまとめて受けたいと思いますのでよろしくお願いします。では、続きまして議題としては最後になりますが、今後の予定につきましてご説明をお願いいたします。</p>
事務局（説明）	<p>最後に、今後の予定についてご説明いたします。事後評価に関する今後の予定を説明します。本日、開催いたしました第2回事業評価委員会の結果を踏まえ、事後評価の取りまとめを行い、庁内会議や12月の市議会建設産業委員協議会で説明し、翌年1月には事後評価シートを完成し、国へ提出する予定です。その後、令和2年2月ごろ事後評価を公表する予定です。次期計画の今後のスケジュールも併せて説明します。本日の第2回事業評価委員会の結果を踏まえて、庁内会議や12月の市議会建設産業委員協議会で説明していきます。また国からの意見協議の結果が12月の市議会建設産業委員協議会に間にあわなかった場合、令和2年3月の市議会建設産業委員協議会で説明していきます。そして、同月に次期計画を公表する予定です。以上で事務局からの説明を終わります。</p>
A委員長	<p>はい、ありがとうございました。これに関して何かご質問はございませんか。議事に関してはこれで終了させていただきたいと思います。全体を通して何かご質問なりご意見がありましたらお受けしたいと思います。</p>
B委員	<p>最近、各地の災害を見ていると、大きな災害が起きています。自然災害はたればの話になってなかなか議論しにくいのですが、もし五条川が決壊したらとか時間雨量100mmを超えた場合などを想定した時、駅東駅前広場地下の貯留槽の規模はこの規模でいいのでしょうか。</p>
都市整備部長	<p>雨水貯留槽や函渠の整備を進めていますが、江南市の治水の総合計画で定められた雨水の強度で検討しており、今の集中的な雨量に対応できていません。</p>

都市整備部長	また河川の方も対応できていません。五条川については下流の方については県の方で計画が作成されていますがこのあたりはありません。江南市にあるのは木曾川で計画規模と想定最大規模が示されていて市のホームページで公表しています。洪水の対応として小学校や中学校の校舎の上に避難してくださいということを案内しています。
B委員	ホームページには木曾川はありますが、五条川は作る予定はないですか。
都市整備部長	市で作成していくことはなかなか難しいです。
B委員	わかりました。
A委員長	では、これで議事の方は一通り終了させていただきます。再度確認させていただきますが、議事の1から議事5の内容について今日資料をお示しいただいて、審議をしてきました。ご質問等はありませんでしたが、内容の修正を伴うようなものは無かったものとして整理をさせていただきます。本委員会といたしまして議事1から議事5に関しては原案を承認するという形をとらせていただきたいと思いますと思いますがご承認いただけますでしょうか。
※意見なし	
A委員長	では、本委員会としては原案を修正事項無しで承認させていただきます。最後にその他について事務局お願いします。
事務局（司会）	その他でございますが、特にございません。本日はこれで評価委員会を閉会させていただきます。どうもお疲れさまでございました。